

令和7年8月15日

松阪市議会議長 濱口高志 様

小川朋子

研修報告書

「第2回 減税&規制廃止カンファレンス 2025」

開催日・時間：令和7年8月2日（土）10:30～18:00

会場：東京都・星陵会館

主催：減税&規制廃止カンファレンス実行委員会

目的：本研修では、「減税って何?」「規制ってどんなもの?」という基本的な疑問から出発し、税金が高いことによる影響を医療・経済・国防など多様な観点から掘り下げて議論し、税制のあり方、政府の財政運営、そして国民が果たすべき役割など、多面的な学びを得られる機会にすることを目的とする。

タイムスケジュール：

10:30	開会宣言 代表:減税あっちゃん	
司会進行: 減税あやさん		
10:35	保守こそ減税	1
ナザレンコ・アンドリー×渡瀬裕哉		
11:20	減税で日本経済復活	2
金子洋一 (聞き手: 減税裸眼)		
12:10	減税新時代! ～オールドメディアはもうオワコン～	3
新田哲史		
12:50	休憩(50分) 会議室Fにて減税アクティビスト交流会	
13:40	減税を阻むのは国家資格だ ～医療の自由なき国に、未来はあるのか?～	4
東徹		
14:25	今の政治状況と有権者への提言	5
倉山満		

14:50	自治体改革トークセッション	6
市川まみ×伊藤けんたろう×おぎの穂×筒井ようすけ		
15:55	浜田聡の減税に懸ける思い	7
浜田聡		
16:15	社会主義ニッポンをふった斬る	8
マツ・ノイズ×ナザレンコ・アンドリー×渡瀬裕哉		
17:10	日本の減税運動の震源地 ～日本税制改革協議会とは～	9
内山優		
17:35	今後の減税運動について(総評)	10
渡瀬裕哉		
17:55	閉会の挨拶 代表:減税あっちゃん	
18:00～	懇親会にご参加の方は、 係員の誘導によりご移動ください	



■減税で日本経済復活（金子洋一氏の講和より）

- ①「減税で経済を成長させれば、税収は自然と増える。だから増税は必要ない。」
- ②経済が 1%成長すると、税収は 3~4%増えるのが最近の実態（=税収弾性値）。成長すれば財源は自然と生まれる。
- ③政府が 20 兆円支出すると GDP は約 3%成長。税収は 7.5 兆円以上増え、消費税減税も可能に。

④減税 → 消費拡大 → 経済成長 → 税収増

↑ ↓

国民の暮らしも豊かに

- ⑤財務省は、税収は伸びないと考えて増税を選びがち。でも実際は成長すれば税収はしっかり増えている。

※詳細は別紙参照



■ 所感

今回の研修を通して、私は「政治家の役割は過去と未来をつなぐことであり、それは未来を守ることに通じる」という考えを再確認しました。政府による規制強化や増税が当然とされがちな風潮の中で、国民の側が「税金は例外的に集められるべきものである」という視点を持つことは重要です。税金の本来の用途「インフラ整備や治安維持」に立ち返る議論が必要だと感じました。

また、国民負担率が 50%近くにもなる現在の状況は、国家による過剰な介入とも言えるのではないのでしょうか。このような背景のもと、減税の必要性は一層高まっています。

減税を実現するためには、まず民意の形成が不可欠であり、そのためにも市民一人ひとりが政治に関心を持つことが大切です。家庭内で気軽に政治の話ができるような空気づくりや、政府の方針を鵜呑みにせず、自らの頭で考える態度を育むことが求められます。

さらに金子洋一氏の講演から、税収弾性値の見直しと経済成長による税収増の可能性に関する具体的なデータを通じて、減税は決して非現実的ではなく、むしろ成長戦略の一環として取り組むべきだという確信を持ちました。

■ 今後の取り組み

今後は松阪市においても、事務事業評価の徹底や予算の使途の可視化に努め、市民の理解と納得を得られる行政運営を目指します。あわせて、減税に関する学びや気づきを市民と共有し、地域から「政治を語れる空気」をつくる活動に取り組んでまいります。